

COVID-19（新型コロナ） – 闇金融の被害に遭わずに資金を探すヒント

資金を融資してくれるところを探す際には、悪質な金融業者や融資条件のワナにかからないようにする知識が重要です。苦戦している中小企業に手を差し伸べる金融機関も多くありますが、中小企業向け融資のすべてが連邦政府の規制を受けているわけではありません。中にはこの苦境に乗じて、信用貸しを切実に必要とする中小企業を餌食にする闇金融業者もいます。政府の救済プログラムを提供すると称して中小企業主を騙そうとする業者もいます。さらに、オンラインマーケットプレイスのローン、決済ベンダーによるローン、マーチャントのキャッシュアドバンス(現金前貸し)、その他のタイプの短期融資など、従来の融資商品のように規制の対象とならないタイプの融資商品もあります。このプロセスで融資ブローカーがどのような役割を果たしているかを理解しておくことも重要です。融資ブローカーは貸金業者ではありません。あなたの事業を「ショッピング」して、融資をする貸金業者を仲介する第三者です。

スモールビジネスが COVID-19 の影響を受けたために融資を探している方は、融資プロセスを理解して、闇金融業者の被害に遭わないようにするために、以下の重要なヒントをお読みください。

U.S. Small Business Administration (SBA) を通じて融資を探している場合

- **Economic Injury Disaster Loans (EIDLs)** は全て SBA 経由で貸し付けられ、他の貸金業者がこれを行うことは禁止されています。SBA の EIDL ローンを提供すると称する貸金業者は避けてください。
- SBA は 7(a)ローン、PPP ローン、EIDL ローン、または助成金についてあなたに連絡することはありません。SBA の職員と称する人からアプローチされた場合は、詐欺を疑ってください。
- SBA ローンの許可を得られると約束するが、事前に支払いを求めたり、ローン提供までの期間に高利なつなぎ融資を申し出る者にアプローチされた場合は、詐欺を疑ってください。
- **Payroll Protection Program** によるローンは 7(a) ローン認定貸金業者から提供されます。SBA は PPP ローンを融資する認定業者数を増やしています。貸金業者の資格が怪しまれる場合は、地元の SBA 地区事務所に問い合わせてください。
- PPP ローンまたは EIDL ローンの申請や契約完了に手数料はかかりません。貸金業者への手数料は政府が支払います。
- SBA のローンの申請中に個人情報を求める E メールを受け取った場合は、参照されている申請番号が実際の申請番号と同じであることを確認してください。

詳細: <https://www.sba.gov/document/report--sba-programs-scams-fraud-alerts>

中小企業の融資に関する体験や情報がある場合は、是非 **Small Business Majority** までお知らせください。
こちらのアンケートにもご協力ください: <https://www.surveymonkey.com/r/5F2VKFG> (英語)

その他の資金源を探す

融資を申し込む前に、貸金業者やブローカーに適切な質問をすることが重要です。ローン申請にあたって、以下のチェックリストを参考にしてください。当連合のリソースポータル(Venturize.org)では他にもヒントやアドバイスを提供しています。

チェックリスト

- 実質年利もしくは APR は何%か。正直な返事がもらえない場合は、そのことにも留意してください。ローンの実質年利を知っておくと、他の選択肢がある場合に比較できます。
- どのような手数料があるか。提示された金利にそれらは含まれているか。返済額はいくらで、返済頻度は何か。
- ローンの全返済期間にかかるコストの全額はいくらか。
- 繰り上げ返済する場合、元本以外に返済しなければならないものはあるか。ある場合、繰り上げ返済コストはいくらか。ローンを繰り上げ返済する場合でも手数料を徴収する貸金業者もいます。これはコストであるのに、「繰り上げ返済割引」と説明する業者もいるかもしれません。
- 融資を受ける貸金業者から将来 2 番ローンを組むとしたら、手数料を二重に払わされるのか。つまり、前回のローンで残りの元本に対する手数料を払う必要があるか。
- 短期間でローンオファーに同意しなければならない場合があるか。勝手に設定された短期間にローンに同意するように圧力をかけてくるべきではありません。
- ビジネスクレジット(信用力)を積み上げられるように、大手個人信用調査機関に私のローン返済情報を報告するか。良い情報も、悪い情報と同様報告するか。返済ができない場合、どのような集金手段を取るか。
- ブローカーを通す場合に尋ねる質問:
 - 提示したローン選択肢の実質年利もしくは APR はそれぞれ何%か。
 - ブローカーとして、各選択肢で、借り手または貸金業者から得る報酬はそれぞれいくらか。特定のローンに契約すると、報酬が高くなるか。
 - あなた(ブローカー)と契約する借り手が最終的にどのようなタイプのローンを借りているか、全体的な要約を見せてもらえるか。平均金利は何%か。銀行融資、中期のオンライン融資、マーチャントのキャッシュアドバンスや短期ローンを組んだのは、それぞれ何人か。

さらに、Responsible Business Lending Coalition の一部として当連合が作成を応援した、Small Business Borrowers' Bill of Rights についても知っておくことをお勧めします。ここには、スモールビジネスが持つべきである、借入れ側の基本的な権利が記載されています。これらの権利は未だ法律で守られていない場合がほとんどです。以下のような権利がそれに該当します。

- 透明性のある価格と条件への権利
- 悪意のない商品への権利
- 責任のある引き受けへの権利
- ブローカーから公正な待遇を受ける権利
- インクルーシブな信用情報アクセス (Inclusive Credit Access) への権利
- 公正な集金慣習の権利

詳細: <http://www.borrowersbillofrights.org/bill-of-rights.html>



この文書は National Coalition for Asian Pacific American Community Development (www.nationalcapacd.org) の協力と Ewing Marion Kauffman Foundation の助成金により翻訳されました。